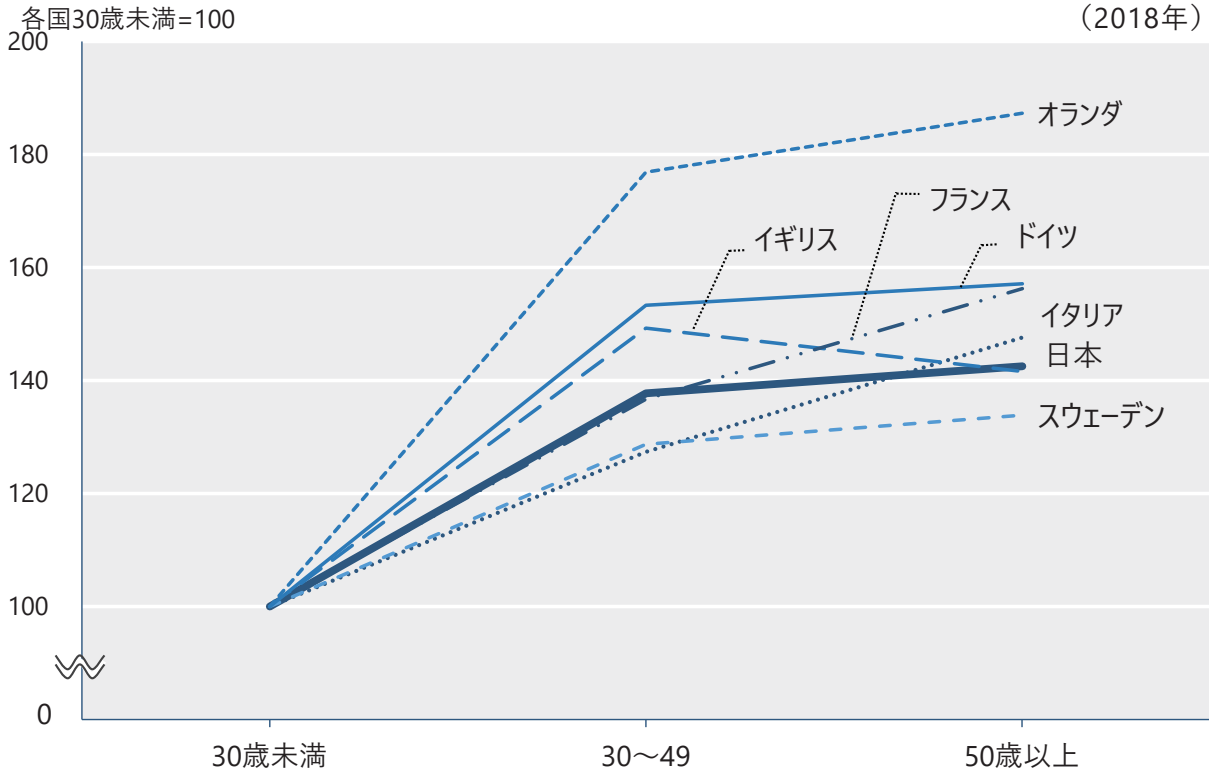


5-3 年齢階級別賃金格差



関連表 p.184 「第5-11-1表 年齢階級別賃金格差（労働者の種類計）」

上のグラフは、30歳未満の賃金を100としたときの各国の年齢階級別賃金指数により、年齢階級間の格差の状況を示したものである。

日本では30歳未満との賃金の格差は、30~49歳層で1.38倍、50歳以上層になると1.43倍へと拡大する。同様に欧州でも、多くの国では年齢階層が上がるにつれて賃金が上昇しているが、イギリスについては30~49歳層をピークに賃金が下がっている。

また職種別にみると、年齢階層間の賃金格差は「生産労働者」よりも「管理・事務・技術労働者」で大きい傾向にある。「生産労働者」では、30歳未満層と30~49歳層、50歳以上層の賃金格差は各国とも概ね1.1~1.3倍程度で、30歳以降ではほぼ横ばいとなるが、「管理・事務・技術労働者」では、30~49歳層でおよそ1.3~1.5倍、50歳以上層では1.6~1.7倍となる国が多く、年齢上昇とともに賃金格差も拡大するためである（p.185 「第5-11-2表 年齢階級別賃金格差（生産労働者）」、p.186 「第5-11-3表 年齢階級別賃金格差（管理・事務・技術労働者）」）。